

国語科 小学校 1年

単元名 本はともだち
「ずっと、ずっと、大すきだよ」

本時の流れ (第5時)

本時の目標

第3場面後半の、エルフが死んだ日の様子を読み取る。

【めあて】

エルフがしんだ日のぼくの様子をよみとろう。

悲しくてたまらないけど、いづらか気持ちが楽だったことをとらえられるようにする。

叙述だけでなく、挿絵ももとにして、どのような場面なのかを考えながら読む。

学習の進め方を提示し、児童に見通しをもたせる。

叙述や挿絵から、エルフを前に悲しんでいる「ぼく」とまわりで「ぼく」とエルフを見守るようにしている家族の様子に気付かせる。

でも、好きと言ってやらなかった家族(兄や妹)と「ぼく」を対比させる。

第1～3場面(前半)までの、「ぼく」とエルフとの関わり合いを考えさせる。
教科書や教室掲示(学習の足跡)を見ながら考えさせる。

「ずっと大すきだよ」という言葉が、本教材の題と関連していることを考えさせる。

「活用」の力を育てる評価の視点

- 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読んでいるか。
(記述の点検、発表の観察)
- 自分の考えをもち、友だちに分かるように発表ができているか。
(行動の観察)

第3場面(後半)の音読語のまとまりに注意して音読する。

本時のめあてを確認
本時のめあてと学習の進め方を理解する。

第3場面(後半)の読み取り
エルフが死んだ日の「ぼく」の様子を読み取る。

目をさますと、エルフが、しんでいた。
よるのあいだにしんだんだ。

ぼくたちは、エルフをにわにうめた。
みんなないて、かたをだきあつた。

板書例はこちら

CLICK

「いづらか気持ちが楽だった」という、ぼくの行動(エルフへの接し方)を思い出させる。

ぼくだって、かなしくてたまらなかったけど、
いづらか きもちがらくだった。

エルフと過ごした日々を想起させる。
語や文のまとまりに注意して音読する。

p 28 10行目の叙述を振り返らせる。

次時

- 第4場面の様子を、登場人物の行動を中心に、想像を広げながら読み取る。

HOME

単元の流れへ